

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台 17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線）2632
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成25年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日（日）	244	307	289		
延べ利用者数 通所（人）	2,827	2,734	2,867		
前年度比（人）		△93	133		
前年度比（%）		96.7	104.9		
延べ利用者数 自主事業（人）	291	984	2,267		
前年度比（人）		693	1,283		
前年度比（%）		338.1	230.4		
利用料金 合計 通所（千円）	2,451	2,374	2,542		
前年度比（千円）		△77	168		
前年度比（%）		96.9	107.1		
利用料金 合計 自主事業（千円）	871	2,006	2,225		
前年度比（千円）		1,135	219		
前年度比（%）		230.3	110.9		

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	13,781	13,287	13,640		
	利用料金収入	2,451	2,374	2,542		
	自主事業収入	871	2,006	2,225		
	収入計	17,104	17,667	18,407		
支 出	人件費	9,268	10,646	10,604		
	維持管理経費	4,526	5,361	5,156		
	自主事業関係経費	9,091	4,425	2,624		
	その他の支出	0	0	0		
	支出計	22,885	20,432	18,384		
収支(収入-支出)		△5,781	△2,765	23		

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
サービス向上のために、何気ない話の中に、その方の対応として大切なことが隠れていることがあることから、利用者それぞれの求めていることを的確に把握できるよう常に会話を心がけています。げんき応援事業では、年度末に各講座対象としたアンケートを実施致しました。その結果を28年度は反映できるように努めます。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
月曜日ご利用の方から、ご意見を頂戴しています。センターに留守番電話がなく、土日は休みのため欠席の連絡が当日(月曜日)朝の連絡となってしまうため、キャンセル料が発生してしまいます。この方には、いろいろな事例を想定して丁寧に説明をして納得していただいております。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
通所事業では、利用者の自主性を保てるように、様々な場面で多くの選択肢を用意して対応しています。また、外出行事、季節行事などを取り入れ、外出の機会が少ない利用者にも心身ともに活気のあるプログラムが提供できたことと思います。 げんき応援事業では、あきる野市の元気な65歳以上の方々が、どんなことに興味を持っているのか情報収集し、ニーズの把握に努めました。五日市センターの立地の良さを生かせるようなノルディックウォーキング、地域の整骨院の先生方にご協力いただいた講座も好評でした。昨年秋には、ホールを使用してクラシックコンサートを開きました。こちらも地域の方が気軽に楽しめるような趣向で行い、約120名のお客様が来場されました。介護学院の研修も小規模ながらも継続しております。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
常勤職員、パート職員とも残業時間が増えないように、時間内で効率良く業務ができるように工夫してきました。光熱費については、無駄のないように職員全員がお互いに声をかけ合うようにしました。活動の中では、利用者の皆様から不用品の寄付などいただき活用させていただきました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業、自主事業ともに利用状況は今後も増加が見込まれ、施設の整備や修繕を適宜行っていく必要があると考えます。地域での認知度も上がり、気軽に立ち寄れるコミュニティの場として今後も継続して事業を発信し続けたいと考えております。初任者研修事業に関しては、受講者数が増えず課題となっており、地域の一助を担う役割として活躍していただけるよう、介護業務に関する不安や疑問を解消できる事前の取組を検討しております。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
通所事業では、利用者の小さなニーズや変化にも細やかに答えようという視点での活動ができており評価できます。げんき応援事業でも地域性を生かした事業運営が行われています。引き続き事業内容について検討を重ね、より魅力的な活動となるよう努めてください。	
経費削減の取組	
職員全体で経費削減に取り組んでいます。施設管理においても、法人全体で経費削減に努めており評価できます。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業・自主事業ともに利用者増に向けて、様々な工夫を凝らした事業が展開できています。今後も啓発・広報活動を引き続き実施するとともに、事業の収支バランスの適正化について、計画的な取組を進めてください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。